

女性登用セミナー〈報告〉

女性研究者の上位職・管理職登用の現状と課題

- 日 時：3月22日（水）14：00～15：30
- 場 所：幸町北キャンパス 研究交流棟6階
生涯学習教育研究センター第1講義室
- 参加人数：16名

3月22日（水）香川大学幸町キャンパスにおいて、「女性登用セミナー 女性研究者の上位職・管理職登用の現状と課題」を開催しました。

まず、眞鍋光輝 理事・副学長より香川大学における女性活躍推進に関する現状についてお話があり、開会となりました。

始めに、男女共同参画推進室 村上弥生コーディネーターより香川大学の女性研究者研究活動支援事業についての成果報告がありました。女性研究者の科研費採択率、管理職登用数及び登用率、在職者比率のいずれも目標値を達成しており、これからも現状をより良くしていく為、取り組みを推進していきたいとお話がありました。

次に、科学技術振興機構 山村康子 プログラム主管より、女性研究者の上位職・管理職登用の現状と課題についてお話がありました。

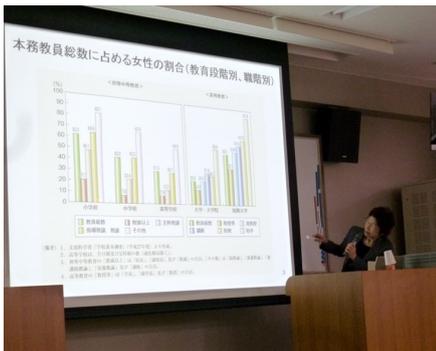
小・中・高・大となるにつれ、女性教員の数減少しており、大学教員における分野別・職階別の割合を見ても、自然科学系（特に工学系）及び上位職階（教授・准教授）の教員における女性割合が低いという問題は、国公立大学で共通しているとのことでした。

また、女性研究者研究活動支援事業・女性研究者養成システム改革加速事業等の成果についてお話し下さり、離職率の抑制、女性研究者割合の増加、研究業績の向上、理学・工学・農学系の女性教授・准教授の在籍割合の増加等の実績をご紹介くださいました。

最後に、当初進めていた事業（研究環境整備、男女共同参画意識の醸成等）は、現在、女性研究者の研究力向上、研究リーダーの育成、上位職執行部への登用へと目標が移りつつあり、同時にワーク・ライフ・バランスの推進、多様な研究・教育人材の育成、研究・教育・事業の活性化につなげていければとのお考えをお話いただきました。

閉会の挨拶は、医学部 清水裕子 教授より行い、閉会となりました。

セミナー後は、意見交換の場を設け、コーヒーやお菓子も用意し、セミナー参加者も交えた中で有意義な意見交換が行われました。



▲講演の様子



▲山村康子 プログラム主管